

第9期計画の策定作業の進捗について

1 各論の策定について

- ・ 今後は、総論で掲げた基本目標を達成するため、必要な個々の事業の方向性を定め各論に記載。
- ・ 介護保険事業計画は、第8期計画の実績と課題を分析したうえで、必要な介護サービス等の量とそれぞれに係る事業費、必要な保険料額を推計。
- ・ 次回の会議で各論の素案を提示する予定。

2 介護基盤の整備計画について

- ・ 高齢者人口・要介護（要支援）認定者の推計、特養の待機者数、日常生活圏域ニーズ調査の結果、各施設・サービスの需要と供給のバランスなどを基に、介護基盤の整備量を検討。
- ・ 6月に①在宅介護者のサービス利用ニーズ、②既存施設の稼働状況、③第9期期間における介護事業者の基盤整備計画の3点について調査を実施。
- ・ 現在分析を進めており、次回会議にて基盤整備の方向性を提示する予定。

3 介護保険事業費等の推計について

- ・ 推計作業には、全国共通の「地域包括ケア見える化システム」を活用。
- ・ これまでの実績データから推計した数値を分析するとともに、制度改正の影響や各施策の効果等を反映して、今後3年間において必要なサービス量とそれに係る事業費等を推計し、これにより必要な保険料額についても決定。